

ニガウリ (ウリ科)

高温性の野菜なので、十分暖かくなってから栽培する。多くの水を必要とするため、水利のよい圃場を選定する。

作型	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地移植栽培					保温 播種	定植		収穫					

1) 適地

日当たりがよく、排水がよいところなら土質は選びません。地這い栽培、ネット誘引、棚や垣根にのぼらせることもできます。かなり繁茂するので、狭い場所での栽培は難しいでしょう。

2) 品種

ツルレイシとも呼ばれます。果実の丸いものから細長いものまで、様々な品種があります。

代表的品種：青れいし、白れいし、島さんご、大長れいし

3) 作り方

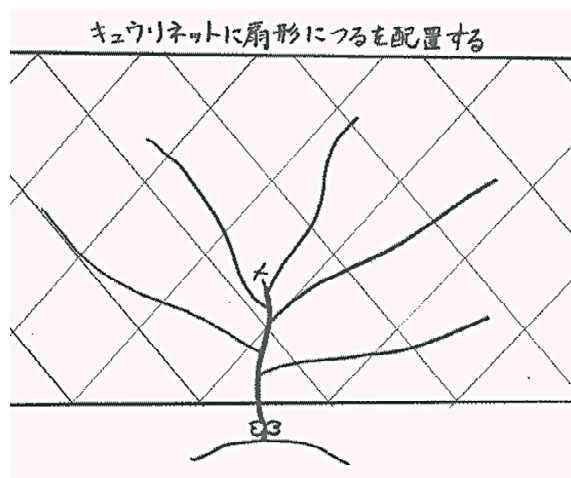
【圃場の準備】酸性土壌では生育はよくありません。定植の1か月前に苦土石灰を1m²当たり120g施して深く耕します。定植の1週間前には基肥として緩効性肥料を1m²当たり150g施します。幅120cmの畝を立ててマルチをかけ、1条に2m間隔で定植用の穴を開けます

【播種・育苗】直径9cmのポットに2粒ずつ播種します。播種後は十分灌水し、保温のできるハウス内などで育苗します。

【定植・管理】本葉3枚の頃に定植し、親づるの下位5節の子づるは除きます。親づるを高さ60~70cmくらいで摘芯し、勢いのよい子づるを5~6本扇形に配置します。支柱はキュウリと同じように立てますが、長い(高い)方がよく生育します。キュウリネットなどを利用し、葉が重ならないようにつるを誘引します。ハチマのように棚作りにしてもよいでしょう。

【追肥】収穫始め頃より、3週間おきに1株当たり高度化成肥料を30g追肥します。

【収穫】若どりするので収穫時期に注意します。見落とすとすぐに果実が色づき、果皮が裂けてしまいます。このときの、種子を被う紅肉は甘みがあります。



つるの配置方法

4) 病害虫防除

病気には強い野菜ですが、アブラムシ類、ハダニ類はしばしば発生します。定期的に登録のある農薬を散布し、防除に努めます。